



第 445 号 平成 27 年 8 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

京都市立学校校園長会との懇談会

会 長 林 鐘 声

今年で設立50周年を迎える京都市学校保健会は現在9部会で構成され、教育委員会の体育健康教育室が事務局を担当しています。その内、医・歯・薬の三師会は教育委員会を混じえて年1回の会合を持つとともに、それぞれの総会に出席するなどの交流関係を築いてきました。こうした活動は京都市に限ったことではなく、同様に、学校医会と教育委員会、養教部会との懇談会も形は違えども、全国的に実施しているものと思います。一方、校園長部会との定期的懇談会を開催しているのは稀有なことようです。校園長は現場の最高責任者であることから、もっと接点を持つべき存在にもかかわらず、その接点はあるようでなく、交流がなかなか持てないのが、実状です。

その中であって、京都市学校医会は、小学校長会と中学校長会と隔年ごとに懇談会を開いてきた歴史があります。平成19年よりは、校園長部会の各会長が一同に集まっての懇談会を開くようになりました。今年は7月11日(土)に実施しました。

出席者は、永本多紀子氏(中京もえぎ幼)、林正幸氏(桂坂小)、初田幸隆氏(開晴小中)、大江加津雄氏(日吉ヶ丘高)、小林一義氏(西総合支援)、及び教育委員会からの2人の7人と、学校医会からは奥沢淳治眼科学校医、八木正人耳鼻咽喉科学校医を始め7人、計14人でした。

協議の主題は、①AEDの使用基準、②エピペナーその保管について、③いじめ、④校園長からみた学校医の役割、⑤スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの利用状態、⑥80時間を越える超過勤務教職員に対する面談結果、並びに効果について、などでした。

①～③は教育委員会との懇談会でも取り挙げたも

のです。私達の問題意識の有り方を校園長に伝えることを主眼としたものでした。エピペンについては、沖縄への修学旅行の初日に、離島の民家でアナフィラキシーショックとなり、持参のエピペンを使用後に病院へ行った生徒の紹介がありました。当日にエピペンの処方を受けられず、その後の旅行をエピペンなしで続けることになったのが問題として挙がりました。2本持参すべきとの意見もあるでしょうが、一般化すべきことではないと思います。④2007年のアンケート結果は皆さんがお持ちの100周年記念誌に載せてあります。2年後には110周年となりますので、改めてアンケートをし直して、この10年間での変化を知りたいと考えての話題提供でした。⑤スクールカウンセラーは有難い。スクールソーシャルワーカーがいると福祉にからむ子ども支援の道筋をつけ易いことから、その人材の派遣を望むとのことでした。外部人材による「チーム学校」への期待は大きいようです。⑥文科省、教育委員会からの書類作成などの事務作業は確実に増えて負担が大きくなっていることは、調査でも明らかです。更に、クラブ活動の顧問ともなると、80時間を越えることは多いようです。しかし、事後の対応が面倒として、80時間未満となるよう過少申告している教師も少なからずいると云われています。今後とも時間外労働が減る方向にあるとは云い難い状況のまま面談をしていくことの効果については、余り大きな期待は持てない印象を受けました。この冬からは、教職員へのストレスチェックが始まり、産業医の出番が出てきます。形ばかりで負担と不満がたまるだけの仕事とならないように、協議をすすめていくのが大事となります。

第66回指定都市学校保健協議会 課題別協議 第2分科会「保健管理」に参加して

太秦小学校校医 井本 雅 美

第2分科会では「子どもの健康増進に役立つ保健管理」というテーマで発表と協議が行われました。

○主旨：新たな健康課題に対し、子どもの健康増進に向けて学校保健関係者が取り組むべき保健管理のあり方について協議する。

○ 協議の視点：

- 1) 健康観察を中心とした子どもの健康増進への取り組み
- 2) 学校における定期健康診断の現状と課題から見る保健管理のあり方

○ 口頭提言（5題）

健康増進への取り組みについて、京都市からは東山泉小中学校の養護教諭，河野玲子氏より、「『健康を探究する子ども』を育てるために～健康観察を切り口にした取組より～」という演題で発表がありました。

自分への関心が低く、健康面においても自己を大切にできていない子どもが多いことより、自らの健康状態を正しく理解し子ども達が主体的に健康増進に向けて行動変容できることを目的とし、健康観察の個人カードを用いた取組が紹介されました。その結果、子ども達は毎日自分の健康状態と向き合うことで自己管理能力が育成されつつあり、また複数の教職員で点検することにより早期対応ができた、などの成果が認められ、今後もこの健康観察を発展させ追及していきたいとのこと

でした。

耳鼻科的な内容になりますが、名古屋市からは「名古屋市立小学校1年生に行っているアレルギー検診の現状と課題」という発表がありました。名古屋市立の小中学校においては学校保健法で規定される定期健康診断とは別に、名古屋市から名古屋市学校医会に委託されているアレルギー検診が毎年行われているということです。京都市とは異なり名古屋市立小学校には正式な耳鼻咽喉科学校医が配属されておらず（中学校にはすべて配属されている）、市立小学校総数263校中112校の2年生児童についてのみ、臨時専門医としての耳鼻咽喉科医による耳鼻咽喉科定期健康診断が行われるとのこと。また、アレルギー検診についても、小学校1年生対象に第1次アンケート調査を実施し、そこで抽出された児童のみが診療所で耳鼻咽喉科医の診察を受けるということでした。

2年前の協議会において、新潟市の一部では耳鼻科健診は中学1年生のみに行われているとの発表がありましたが、他の都市での現状も知りたいところです。

第2分科会ではこの他に3つの口頭提言がありました。抄録は研究資料として冊子がありますので、必要のある方は学校医会事務局にお問い合わせ下さい。

第66回指定都市学校保健協議会 課題別協議 第3分科会「心の健康」に参加して

西京高校学校医 杉 本 英 造

協議題：心の健康づくりをめざすための支援のあり方
主 旨：心の健康に関する問題が多様化・深刻化する中、子どもの心の健康づくりを推進するために必要な取り組みや支援のあり方について協議する。

協議の視点：子どもの心の健康づくりに向けた教育活動の推進
心身に問題を抱えた子供への支援のあり方

1. 子ども虐待に対する学校歯科医の関わり～歯科からの支援について～ 川崎市
予防（発生・進行・連鎖）・発見・事後支援（虐待フォローネットワーク）3つの柱。
口腔の状態：多数歯う触・口腔清掃不良・外傷歯や体にアザ。
子どもの状況：体に触れると怯える・注意すると緊張・不潔な衣服をチェックし不適切な親子関係に気づくことが大切。虐待フォローネットワーク協力医は児童相談所入所中の子どもの診療も行う（2013年：68名）
2. 体・命・心を大切にすると子の育成～自尊感情を高める取組～ 相模原市
家庭との連携を図る・共有体験，共感，共視に取り組む・性教育，命の教育
3. 集団の中で自他を認め合える児童の育成を目指して ～スキルを育む実践を通して～ 浜松市
全学年単学級でクラス替えがないため，低学年時

に生じた問題を引きずり消極的になりがちなため，保健週間・学校保健員会の活動を通し，1～6年の縦割り活動取組

4. 自分の心と体に関心をもち，主体的に健康な生活をしようとする子どもの育成をめざして～喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の取り組みをとおして～ 岡山市

視覚に訴えて危機感を与え，ロールプレイングにより「自分の言葉で断る経験」が有用。家族で話題にすることも大事。

5. 心の健康問題の早期発見と支援～校内外の連携を通じて～ 北九州市

登校時の健康観察，欠席状況を学級担任だけでなく教科担任・養護教諭で情報を共有。

年2回「心のアンケート」を実施。プライバシーを考慮した保健室での対応，スクールカウンセラーと連携。発達障害等は，専門医療機関・少年支援室へと繋ぐ。チームでの対応体制が重要。

7月4日の南支部会開催のご報告

南支部長 清水 忠雄

7月4日四条寺町下がる，和食の『菜ノ菜』にて開催致しました。学校医会より林鐘声会長，長村吉朗監事に出席頂き和やかに開宴。乾杯のあと冒頭に，学校における食物アレルギー対応について会長よりお話をいただきました。既に学校医各位に配布済みの食物アレルギー用の学校生活管理指導表の記載方法の要点や食物アレルギー緊急対応個人別マニュアルについて分かり易く説明して頂きました。エピペン使用については，学校医会にエピペン使用に関するDVDがあり，貸出利用出来るとの事で積極的に使って頂きたいとの事でした。テーブルが二つに分かれ少し離れていた為，各テーブル5人での話が大半だったのですが，和やかに日頃の仕事や悩み，趣味嗜好について話が盛り上がり，気持ちの落ち着く良い時間を過ごしました。

閑話休題 いつも会開催のご案内を出しておりますが大方の方は返事を頂くのですが，見落としなどから返事を頂けないことがあります。中にはこれまで一度の返事もなく一度だけ出席の返事があったと思えば当日無断欠席，何かあったのかと確かめれば，「失念してただけ，お金払いましょうか」と，金さえ払えばいいんだろうと言わんばかりの宇都けた事をのたまう輩もおられ，医師である前に人として「？」と疑問に感じ，自分も襟を正さねばとの思いでした。

出席者は学校医会より林会長，長村監事。南支部より山下，小山，檜垣，岡本，山本，初顔の久世西小の今井博之，南大内小の松尾裕行及び私の総勢10名でした（敬称略）。来年も7月第1土曜を予定しています。多数のご参加をお待ち致します。

全 理 事 会

平成27年8月1日

於 キャレドミュー

出席者 林会長，竹内・井本副会長，杉本専務理事，
東道・山内・安野・川勝各常任理事，
尾崎・上田・橋平・笹部・辻幸子各理事，
佐野眼科学学校医会副会長，奥村副議長

・会長挨拶

<報告事項>

1. 南支部会 7/4 於：菜ノ菜
2. 京都府耳鼻咽喉科専門医会創立百周年記念講演会・祝賀会 7/5
於：ホテルグランヴィア京都
3. 色覚相談 7/7, 7/14, 7/28
4. 京都市学校保健会理事会・評議員会 7/7
於：新都ホテル
5. 精神衛生研究会 7/9
6. 校園長会との懇談会 7/11
於：シェ・カワセ
7. 腎臓相談 7/14
8. 京都市中学校選手権総合体育大会 柔道種目
7/19 武上俊明先生, 7/20 奥村正治先生
於：京都市武道センター
9. 第36回 近畿学校保健連絡協議会 7/23
於：大阪府
10. 第14回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会
7/25 15:00～ 於：こどもみらい館
11. 平成27年度 京都市小学校水泳記録会
7/29 於：京都アクアリーナ
12. 各支部報告
13. その他

<協議事項>

1. 教職員のストレスチェックリストについて
2. 寄生虫卵の検査について
3. 養護教育研究会との懇談会について
4. 京都市中学校体育大会出務医について
5. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 8/4, 8/18, 8/25
2. 総合支援学校支部会 8/8
3. 第4回 常任理事会 9/5
4. その他

